

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Presaturated wipes containing 99% Isopropyl alcohol (100FLIQ)
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	Contec, Inc.
住所	525 Locust Grove Spartanburg, SC 29303 米国
電話番号	1-864-503-8333
メール	SDS@contecinc.com
緊急時電話番号	昼夜を問わずCHEMTRECに連絡すること 米国/カナダ: 1.800.424.9300 メキシコ: 1.800.681.9531 米国/カナダ国外: +1.703.527.3887
製品コード	SW250053, SW420038, SW420051, SW420078, SW420147
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	高洗浄度クリーニング用ワイブ。
使用上の制限	推奨用途以外の使用。
整理番号	100FLIQ-SW

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分2A 区分3 麻酔作用
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気。強い眼刺激。眠気又はめまいのおそれ。

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。ミスト/蒸気の吸入を避けること。取扱後はよく洗うこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。火災の場合: 適切な消化剤を使用して消火すること。

保管

施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 眼に直接接触すると重篤な眼刺激を引き起こす。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。高濃度の蒸気には麻酔効果があり、頭痛、疲労、めまい、吐き気を起すことがある。

非常事態の概要 強い眼刺激。眠気又はめまいのおそれ。引火性の高い液体及び蒸気。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
イソプロピルアルコール	67-63-0	(2)-207	(2)-207, 2-(8)-319	≥ 99

組成情報 すべての濃度は体積パーセントで示されている。

4. 応急措置

吸入した場合 製品の形状からして該当しない。しかし： 吸引した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 製品の形状からして該当しない。しかし： 経口摂取した場合： 口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 眼に直接接触すると重篤な眼刺激を引き起こす。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。高濃度の蒸気には麻酔効果があり、頭痛、疲労、めまい、吐き気を起すことがある。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項 一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。火傷： 直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧。耐アルコール泡。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO₂) 。

使ってはならない消火剤 火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。

火災時の特有の危険有害性 無炎燃焼する可能性がある。蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。蒸気は空気より重いので、地面に沿って広がり着火源に近づくことがある。蒸気は発火点までかなりの距離を移動し、フラッシュオーバーすることがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。炭素酸化物。有機化合物類。

特有の消火方法 火災や爆発の場合、煙を吸入してはならない。炎にさらされた容器を水で冷やすこと。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性 高度に引火性の液体および蒸気を含有する固体。

特定の消火方法 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト/蒸気の吸入を避けること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については本SDSの第8項を参照。

環境に対する注意事項

下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。
環境への放出を避けること。液状の溶剤溶液は水と混和する。
ワイブの繊維が液状の溶剤溶液を吸収しているので、漏出する可能性は非常に低い。漏出した場合には不活性な吸収材で封じ込めること。火花を出さない工具でワイブを集め、残った液体をワイブで吸収するか拭き取ること。使用済みワイブは密閉容器に廃棄しなければならない。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの第13項を参照。

二次災害の防止策

密閉された場所は、入る前に換気をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱注意事項

警告。使用済みワイブを不適切に廃棄したり着火源の近くで保管したりすると引火するおそれがある。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当たらないようにする。取扱中は禁煙。ミスト/蒸気の吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間のばく露を避ける。取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用する。産業衛生に気を配る。

接触回避

詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策

取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

熱、火花、裸火から離して保管する。可燃物から離して保管する。容器を密閉しておくこと。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。換気の良い場所で保管すること。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの第10項を参照）。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号) 別表

物質	タイプ	数値
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	管理濃度	200 ppm

日本産業衛生学会 - 許容濃度

物質	タイプ	数値
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	最大許容濃度	980 mg/m3
		400 ppm

米国. ACGIH作業環境許容濃度 (TLV)

物質	タイプ	数値
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	STEL	400 ppm
	TWA	200 ppm

生物学的許容値

ACGIH生物学的許容値 (BEI)

物質	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	40 mg/l	アセトン	尿	*

* - サンプリングの詳細については原資料をご参照下さい。

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置、その他の装置により空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具

設備対策によって気中濃度が国等によるばく露限界値または（ばく露限界値がない場合には）許容できるレベルを下回らない場合は、検定や認定を受けた呼吸用保護具を着用しなければならない。有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。呼吸用保護具の供給者に相談すること。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。製造者から提供される透過性及び破過時間に関する情報、及び特別な作業条件（機械的歪み、接触の継続時間）に注意すること。推奨される材質：ポリエチレン。ネオプレン。塩素化ポリエチレン（又はクロロスルホン化ポリエチレン）。天然ゴム。ポリ塩化ビニル（PVC）。ニトリルゴム／ニトリルラテックス-NBR。エチルビニルアルコール積層物（「EVAL」）。不適切な材料：ポリビニルアルコール（PVA）。

眼、顔面の保護具

通常の場合には必要ない。液はねが生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの保護眼鏡（又はゴーグル）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体。
形状	液体を含浸させたワイブ。
色	無色。透明。
臭い	アルコール
臭いの閾値	この特性は測定されていない。
融点／凝固点	-88.5 °C (-127.3 °F) (IPA)
沸点又は初留点及び沸点範囲	> 82 - < 89 °C (> 179.6 - < 192.2 °F) (IPA)
可燃性	高度に引火性の液体を含有する固体。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発限界－下限(%)	2 % (IPA)
爆発限界－上限(%)	12 % (IPA)
引火点	20.5 °C (68.9 °F) (IPA)
自然発火点	399 °C (750.2 °F) (IPA)
分解温度	この特性は測定されていない。
pH	この特性は測定されていない。(IPA)
動粘性率	0.7339 mm ² /s (IPA) 推定値
溶解度	
溶解度（水）	水と混和性。(IPA)

n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	0.05 (IPA)
蒸気圧	43 hPa (32 mm Hg) (20 °C (68 °F) (IPA))
密度及び／又は相対密度	
密度	0.00013 kg/m ³ (129.28 mg/m ³) (IPA)
相対密度	0.872 (20 °C (68 °F) (IPA))
相対ガス密度	2.1 (IPA)
粒子特性	該当せず。(意図的に放出される物質を含む織物)
その他の情報	
絶対粘度	0.58 mPa.s (IPA)
蒸発速度	この特性は測定されていない。(IPA)
爆発性状	爆発性はない。
酸化能力	酸化性はない。
揮発物濃度	100 % (IPA)
比重	0.785 20°Cで
粘度 (粘性率)	この特性は測定されていない。(IPA)

本製品はあらかじめ含浸されたワイプとして供給される。以下に記載する物理化学的性質は、固体基材ではなく含浸液 (IPA) に関するものである。

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。直射日光を避ける。
混触危険物質	アルデヒド。有機ハロゲン化物。ハロゲン類。強酸。強酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼すると以下を生成する：炭素酸化物 および 他の有機物質。

11. 有害性情報

急性毒性

製品	種	試験結果
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)		
急性		
吸入		
蒸気		
LC50	ラット	72.6 mg/l, 4 時間
経口		
LD50	ラット	4710 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	12870 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 呼吸器感作性物質でない。

皮膚感作性 この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。
ACGIH発がん性物質	
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	眠気又はめまいのおそれ。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない。
誤えん有害性	誤えん有害性でない。
その他の情報	頻繁にまたは長期間接触すると、皮膚を脱脂、乾燥させ、不快感および皮膚炎を引き起こすことがある。

12. 環境影響情報

環境影響データ

製品	種	試験結果
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)		
水生		
<i>急性</i>		
甲殻類	LC50	オオミジンコ > 10000 mg/l, 24 時間
魚類	LC50	コイ科 9640 mg/l, 96 時間
<i>慢性</i>		
甲殻類	EC50	オオミジンコ > 100 mg/l, 21 日間
	NOEC	オオミジンコ 141 mg/l, 16 日間
		30 mg/l, 21 日間

生態毒性 この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性・分解性 本製品は易分解性（生分解性）の物質を含有する。

生体蓄積性 生物濃縮の可能性は低い。

生体内蓄積の可能性

オクタノール／水分配係数 log Kow

0.05, (IPA)

土壌中の移動性 イソプロピルアルコールは土壌中の移動性が非常に高い。

オゾン層への有害性 データなし。

他の有害影響 本製品は、光化学的オゾン生成能のある揮発性有機化合物である。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器を再使用しない。

地域の廃棄規制 回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。適用される全ての法規に準拠して廃棄しなければならない。使用済みワイブは密閉容器に廃棄しなければならない。使用済みワイブは乾燥させてから埋め立て処理すること。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number 1219

UN proper shipping name Isopropanol

Transport hazard class(es)

Class 3

Subsidiary hazard -

Packing group II

Environmental hazards No.

ERG Code 3L

Special precautions for user Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

IMDG

UN number 1219

UN proper shipping name ISOPROPANOL

Transport hazard class(es)

Class 3

Subsidiary hazard -

Packing group II

Environmental hazards

Marine pollutant No.

EmS F-E, S-D

Special precautions for user Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 確立されていない。

国内規制 国内輸送については第15項の規制に従うこと。

応急措置指針番号 129

15. 適用法令

労働安全衛生法

危険物 引火性の物

有機則

第二種有機溶剤

イソプロピルアルコール

通知対象物（SDS交付及びリスクアセスメント対象物）（政令番号、含有量、施行日）

プロピルアルコール 政令番号 1780

プロピルアルコール 政令番号 1780

表示対象物

プロピルアルコール 政令番号 1780

プロピルアルコール 政令番号 1780

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当しない。

毒物

該当しない。

劇物

該当しない。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当しない。

第二種特定化学物質

該当しない。

監視化学物質

該当しない。

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール

化学物質排出把握管理促進法**特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)**

該当しない。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当しない。

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当しない。

消防法 第四類アルコール類

船舶安全法・危規則 引火性液体類

航空法・施行規則 引火性液体類

火薬類取締法
該当しない。

海洋汚染防止法
イソプロピルアルコール Z類

16. その他の情報

引用文献 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

Contecは、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。